

# 昔の大館って どんなところ 行ってみよう 郷土博物館へ

リポーター 中嶋 正三 さん (田代町1区)



No. 8



石田館長(左)と板橋係長(右)から館内の説明を受ける中嶋リポーター(中央)

近ごろ各地の工事現場で遺跡が発掘されています。そこから発掘された遺物や遺構が先人たち(昔の人々)の生活の様子や文化、風土を探るうえで話題が多く、テレビや新聞でにぎやかに報道される今日です。ふるさと大館にも、地元で出土した数々の遺物をはじめ、昔の大館を知る貴重な資料が豊富に保管されてきましたが、施設がななく、市民に公開することができなかつたようです。ところが、市民の念願でありました博物館開館の実現にいたっ

て、遺物や資料の公開が可能になり、身近に往時の大館の様子を学べるようになりました。そこで、開館後九カ月経過した博物館を訪問し、石田館長にいろいろお話を伺って参りましたのでご紹介します。

## どこに博物館があるのですか

正しい名称は、大館郷土博物館とい、建物は獅子ヶ森のふもとにあります。その建物は、学校統合によって廃校になった元の県立大館東高校の校舎を市が県から譲り受け、博物館として利活用するために三年余りの歳月で準備、内部改装をして完成したものです。結果、今まで倉庫などに保管されほとんど公開されることがなかつた多くの遺物や諸道具類、機械、絵、写真などを分野ごとに整理、陳列でき、昨年四月二十五日にオープンしました。早くも今春は一周年を迎えます。

## 参観はいつできますか

毎週月曜日の休館日(月曜日が祝祭日に当たるときには火曜日が休館日)以外は毎日午前九時から午後四時までいつでも入館することができます。入館料は一般が三百円、高校・大学生が二百円、小・中学生が百円と手ごろな料金で、十五人以上であれば団体割引になります。

## 展示はどうなっていますか

展示館の一階は「大館の自然と産業」、二階は「大館の歴史と民俗、先人顕彰」コーナーに。管理棟にある美術工芸展



産業コーナーの林業に関する展示の一部

示室は、美術コーナーと工芸コーナーに分類されています。

現在展示されている各コーナーの概要は次のとおり。

▼自然コーナーでは、大館市にある6件の国指定天然記念物と1件の県指定天然記念物。大館盆地の成り立ちと、大館の主な山や川、地層などのパネル。

▼産業コーナーでは、大館の農業として、その様子と農機具や民具など。林業として、林業に利用された道具類及び曲げ物、桶、樽の製作工程とそれに使用する道具など。鉱業として、鉱山の様子と機械や道具、それに鉱石の標本など。

▼考古コーナーでは、旧石器、縄文、弥生の各時代の土器や石器など、たくさんの遺物。